

## 美里町長就任にあたって

このたびの改選により、平成26年2月5日から美里町長に就任することとなりました相澤清一でございます。

前町長の佐々木功悦氏から引き継ぎ、新たに町政運営のかじ取りを果たすこととなり、町民皆さまの信託にこたえ、美里町のあらゆる課題に対峙していくという事に対して、あらためて大きな責任の重みを感じているところであります。

本町のみならず、現在、地方自治体には地域の自主性および自立性が求められています。そのような背景の中で、少子高齢化による人口減少、インターネットやスマートフォンなどの情報端末の普及に伴う高度情報化、そしてごみ処理や住環境をはじめとした環境整備など、多くの課題に直面しております。また、私が特に重点的に推し進めていきたいと考えている農業政策においても、今後のTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の交渉結果次第では、本町の農業政策についても、その在り方を大きく転換せざるを得ない可能性を含んでおり、各種産業のグローバル化も加え、大変厳しい状況となることが予想されます。

これらの課題解決に向け、地方自治の最小単位であり基礎自治体であるわれわれ「市町村」におきましても、限られた財源を無駄なく最大限に活用し、決して目先にとらわれず、常に危機意識を持ちながら、積極的に対応していく必要があります。このことについて、私自身も創意工夫しながら行政運営を進めてまいりたいと思います。

東北地方に大きな傷跡を残した東日本大震災から、もう少しで3年が経過しようとしておりますが、私はあの混乱の中で得た多くの経験を基に、常に安心・安全が享受できる生活がいかに大切であるかを痛感し、あらためてその意義を学びました。

その教訓を踏まえ、私は「平和」「緑」「教育」「医療・福祉」の4つを特に重視し、平和の尊さ、農業とそれを取り巻く環境の大切さ、まちづくりの根幹である人づくりへとつながる教育の実践、町民皆さんを支える医療・福祉に取り組む所存です。

この取り組みが、誰もが安心して生活できる「まちづくり」の実現につながると信じ、町民皆さんと共に進んで行きたいと思います。

このような考え方のもと、私は基礎政策として、

1. 町民皆さんと共に歩むまちづくり
2. 平和行政の推進
3. 脱原発（原子力発電所再稼働の反対）
4. 常に行政すべてにおいて、危機管理を意識したまちづくり
5. 総合計画を踏まえたまちづくり

これら5つの信念を心に刻み、今後、さまざまな施策を講じて展開していく覚悟であります。

**「至誠、天に通ず」**

常に誠を忘れずにしっかりと事に対処すれば、自ずと道は開けます。

その思いをかみしめて、常に先頭に立ちまい進してまいりますので、これまで以上に皆さまのお力添えをいただきますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

**活力ある美里町と共に創造してまいりましょう。**